

正誤表

『パートナー分析化学Ⅰ 改訂第3版』（第1刷）

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

(2018.2 南江堂)

頁	行	誤	正
48	5	アルレニウス	アレニウス
61	表4-3, 「組成」欄の最下行	炭酸水素ナトリウム水溶液	炭酸ナトリウム水溶液
	例題4-16, 2行目	H ₂ NC(CH ₂ OH) ₃ のp <i>K</i> _a =8.06とする.	H ₂ NC(CH ₂ OH) ₃ の共役酸のp <i>K</i> _a =8.06とする.
86	6	などのアルコールと水など	, イソプロパノールなどのアルコール
	8	アンモニア	<i>n</i> -ブチルアミン
	9	b) 非プロトン性溶媒	b) 半プロトン性溶媒と非プロトン性溶媒
	10	極性溶媒には, <i>N,N</i> -ジメチルホルムアミド	半プロトン性溶媒は, プロトンの受容性が高いが供与性がない溶媒で
	11	, ジエチルエーテル, アセトン	(削除)
	12	無極性の溶媒には	非プロトン性溶媒は, プロトンの授受に関与しない溶媒で
	13	トルエンなど	トルエン, アセトニトリルなど
88	9	<i>p</i> -ナフトールベンゼイン (NB) は, 塩基性で緑色, 酸性で黄色を呈する.	<i>p</i> -ナフトールベンゼイン (NB) 試液は, 酢酸溶媒中では黄色を呈するが, 強酸を加えると黄緑色を経て緑色に変化する.
	図4-12		欄外の図に差替え願います
126	↑6	水中のCaおよび	水中のCa ²⁺ および
260	10 液体クロマトグラフィー, 「アゼルニジピン錠」の「移動相」欄	KOH (pH6.0)	NaOH (pH6.0)



◆ 図4-12 クリスタルバイオレットの構造と色の変化

(パートナー分析化学Ⅰ 改訂第3版, 南江堂, 2017)